

## 2022 年度第 3 回幹事会 資料

### 目次

インストラクタ講習会の見直しプロジェクトについて……………	2
インカレ枠配分について……………	3
地図規約……………	5
ユニバー派遣事業の JOA への移管について……………	11
2023 年度予算案について……………	12
部局報告 ……………	13

## インストラクタ講習会の見直しプロジェクトについて

2023/1/28

日本学生オリエンテーリング連盟  
理事 谷野文史

## 1. 概要

日本学生オリエンテーリング連盟(以下、学連)では、過去日本オリエンテーリング連盟(JOA)からいただいた要望および、学生の運営能力向上を目的にインストラクタ講習会の開催を行ってきた。しかし、2022年度の参加者は5人であり、学生側のニーズにあった講習会が提供されていないという課題が見受けられた。

このため、JOA-学連間での意見交換を実施し ①JOAから学連に対してインストラクタの資格をとるための講習会を実施すべきであるという要望はないこと ②資格にとらわれず学生のニーズや必要なノウハウを提供する講習会を模索していくべきであるということ の2点を確認した。

以上よりインストラクタ講習会の見直しを実施し、学生のニーズや必要なノウハウを提供する講習会を提供できるよう計画・調整を行うことを本プロジェクトの目的とする。

## 2. 課題認識

現行のインストラクタ講習会における課題認識は以下のとおり。

#	項目	内容詳細
1	学生のニーズと合わず参加者数が少ない	学生がインストラクタ資格を取得するメリット等について理解していない。 インストラクタ資格へのニーズがないため、参加者数が少ない。
2	コンテンツの内容を調整することができない	インストラクタ資格取得のための講習会であるため、提供コンテンツを調整することが難しい。

## 3. 変更概要

## 1 導入の目的

・加盟校各校に対して、競技や団体運営、大会運営について基本的な知識やノウハウを提供することで各団体の活性化を図る。

## 2 コンテンツの改善

・運営ノウハウや選手としての在り方(インテグリティ教育)、技術指導法等を研修する会とする。  
・アイスブレイクや交流会など、大学間の交流を深める場とする。  
・興味のある人はJOAの資格につなげる。

## 3 規則の変更

・学連の加盟校資格に各大学年1度の講習会参加の義務化させる。

## 4 会計方針の変更

宿泊費は学連持ち(会計)

例)58校(2022年度加盟数)×8,000円=464,000円

(今年度インストラクタ講習会予算:550,000円)

## 4. 改修までのスケジュール

期間	内容
~2023/2/17	担当者間認識合わせ
2023/2/20	幹事会にて議論、基本方針を承認
~2023/3/12	コンテンツ内容の調整
2023/3/dd	2023年度内予算の確保
2023/mm/dd	プレイベント実施
2023/mm/dd	第2回総会にて規則改正を承認
2024/mm/dd	第1回イベント実施

## インカレ競技者数及びその配分に関する規則の改善

2023年2月10日  
静岡大学 井土 宙

### 1. 問題点

入賞に関わってくるような選手が競技者数配分(地区学連の枠)の関係で選手権クラスに出られない

(例) 東海学連に1枠しかなく、全日本大会で活躍するような選手が4人存在している

### 2. 議論の目的

インカレという学生内のトップを決める舞台に、現状の枠配分の関係で選手権に出られない実力者を選手権に出場させること。

今回の幹事会では、問題点とその改善方法について共有をし、各地区学連で意見を募集し、次回の総会にて決議する。

### 3. 改善方法

- ① 推薦枠を導入する
- ② 日本ランキングを利用する

#### 4.1 推薦枠の導入

日本学連技術委員会に推薦書を提出し、技術委員会の承認により選手権出場資格を得る。

2023年度インカレから開始し、第二条「競技者数と配分の対象」の3とする。

対象者：入賞に関わってくる選手。

→エントリー締切日での学生内の日本ランキング上位12位以内(この基準はインカレ入賞に関わってくるだろう順位)。現状日本ランキング以上の実力の指標となるものはないため日本ランキングで対象者を選ぶ。

対象地区学連：上記基準ランキングを満たす選手人数が地区学連の枠配分の人数より多い場合であること。

→選手権出場者を決めるのはセレではなく地区学連なので、多く枠があるがセレで選ばれなかった実力者が出場できないのは地区学連の問題である。

その他の規則として

- ・推薦枠で出場する選手は来年度の枠を獲得できない

→獲得できる場合、この制度を悪用し来年度の選手権人数を増やすことができるため

#### 4.2 推薦枠の導入のメリット

- ・インカレという学生内のトップを決める舞台に、現状の枠配分の関係で選手権に出られない実力者を選手権に出場させることができる

#### 4.3 推薦枠の導入のデメリット

- ・技術委員会の負担が増える

#### 5.1 日本ランキングの利用

※インカレが終了していることから 2023 年度は適用しません

- ①各地区に学連枠を男子 2,女子 1 配分。残りの配分はすべてをランキングに基づく。
- ②全員(男子 60,女子 30 人)をランキングで選出する

#### 5.2 日本ランキングの利用のメリット

- ・実力者が確実に選手権に出場できる
- ・セレのリソース問題が解決
- ・学生が日本ランキングに関心を持つ

#### 5.3 日本ランキングの利用のデメリット

- ・金銭的負担が増える。  
→インカレに出来ない理由として金銭的問題があげられている状況で更に金銭的負担をふやしてしまう
- ・地区によりランキング大会の開催頻度のばらつきがある  
→関東圏では多く開催されており、北海道では年 2 回程度である
- ・セレ文化がなくなる  
→現状インカレよりもセレのほうが参加人数の多い状況である。セレは学生にとっての Big イベントである。
- ・現在ランキング大会に参加する学生は多くいない
- ・規則の変更が多く、制度をつくるのに膨大な時間がかかる

#### 6. 決議に関して

- ①変更なし
- ②推薦枠の導入
- ③ランキングを利用

令和5年2月20日

## 2023年度の地図会計に関する提案

指定管理契約事業者  
(有)ヤマカワオーエンタープライズ  
代表取締役 山川克則

1. 来年度より学連版権地図の価格をコロナ特別対応前の幹事会決定価格350円に戻すことを提案する(幹事会決議事項)
2. 「日本学生オリエンテーリング連盟の地図の作成と運用に関する規約」(<http://www.orienteering.com/~uofj/?blogid=1&catid=6&itemid=932>) を利用しての新事業(第12弾)を提案する(予算額150万円、幹事会決議必要事項)

### 【説明】

1. コンスタントに年間売上1万枚(今のコロナ対応価格、学連版権分250円だと単純計算で250万円)以上の売り上げがある。2. の理由とも相まってくるが、この事業による大判地図の拡大も一応終結を見ていて(まだまだ他にも、もっと不便になるが開拓の余地のある場所はある)塩谷クラシック以降新規開拓はなく、地図会計は入金ばかりの状況となっている。またコロナ対策で特別に出費を強いられた費用についても2年間のコロナ対応価格値上げ分(延べ2万枚以上×差額50円)で十分理め合わせができたと評する。よってこれ以上コロナ対応の値上げ状態を維持しておく理由はなく、より加盟員のトレイン利用の利便を図るためにも2023年年度からは元の価格1枚あたり350円(この価格も過去の幹事会で決めた)で運用していくことを提案する
2. 新規拡大事業は2021/6/6開催の塩谷クラシック(東工大大会)依頼申請がない。またこの大会もコロナの為に延期を強いられたものであり、幹事会的には2020年の幹事会で取り扱ったものである。この大会で一連の拡大政策は一応の終了をみている(接合しないもっと不便な場所ですらさらに新規地図作成事業を行える場所はあるが、利便性や採算性の問題もある)。それ以降は「矢板山田」の全面改訂(関東北東セレ利用)、とか、傘下団体に版権を一時的に預け自前大会のために地図改訂を行ってもらって大会後日本学連に版権を戻す企画が2022年度に行われた。「日光例幣使街道」(2022.9.7関東新人戦)「矢板山苗代」(2022.12.5 KOLC大会)

振り返れば、この政策事業は学連の地図拡大政策はそれに相まっの、最大落ち込んだ早大・千葉大・筑波大・KOLCの再興や東工大・茨城大・農工大など自前地図での大主催大会が開催できなかった大学が経験を踏む場としての役割から、新しいフェーズに入ったこと意味している。毎年1万枚場を売り上げる版権地図をどう活用し、どう組織維持を

図っていくか、そのためによりよい投資を行っていくことがお金を預かる学連の責務となっていると言っても過言ではない。

というのは先日の全日本リレーの調査を通じてマップパーからの直訴があり、もう2011年以前に作成した地図の応急の手直しでは調査をやってもらえない、地図の基礎工事にあたる部分は全部レーザ測定のコンタにお金をかけることの提案である。その方が10年視野で見れば、学連も競技者も(試合でも日頃の練習でも)絶対利益になります。その最初の取り組みが直近で2023.6.25に行われる関東ロングセレ「前高原」(「矢板塩田」「矢板片俣」を含むエリア)を第1弾として申請し、第2段以降このエリアの地図に適用してゆき、新たな関東新人戦やKOLC大会的企画申請にも備えようというものである。

#### GPS利用調査の主な経緯

2002年ごろから軍用に独占されていたGPSデータの民生利用が始まりオリエンテーリングの調査でも利用が始まる。学連的には「番匠峰古墳」で最初の利用が始まり、「前高原」エリアに進出して順次作成している

2011年測地法改正、新しい位置座標がされ、旧座標(JGD2000)と新座標(JGD2011)が混在している状態、作成された時期によりO-MAPもどちらで作成されているかそれぞれ違う、それで今もコース作成ツールで位置が合わないことがよく問題になっている。

一方1996年あたりから開始された航空レーザ測定は2012年あたり(正確ではない)から公開データの利用が始まっていて、2013年3月の日光インカレ「日光所野」ではそのデータを原図とした調査が行われ精度に飛躍的な向上をみた

一方時を同じくして民生化がなったものにドローンがあり、ドローンとレーザ測定を組み合わせた測定も公開データがない場所で出来るようにしたのが、オリエンティアで2014年に設立されたかなめ測定(社長:高島さん)である。

時間切れ 資料はここまで

あとは口で

2023年2月20日

日本学生オリエンテーリング連盟 御中

## 地図事業計画書

下記のとおり地図事業を計画しておりますので、その可否について検討願います。

## 記

1 事業申請者	所在地	〒329-2441 栃木県塩谷郡塩谷町船生6082-68
	団体名 及び 代表者名	社 ヤマカワオーエンタープライズ 印
	電話番号	090-8041-4673
	メールアドレス	<a href="mailto:rmo-s.yamakawa@nifty.com">rmo-s.yamakawa@nifty.com</a>
2 事業実施予定時期	令和5年4月 ～ 令和6年3月 (年度内第1期事業)	
3 事業実施地域 (更新の場合は地図名)	日本学連所有地図「前高原」(矢板塩田・片俣・番匠峰古墳エリアを含む) 2011年以前に初版地図を作製したエリア	
4 事業名	前高原(矢板塩田・片俣・番匠峰古墳)エリア 全面レーザ測量および順次地図調査更新(第1期)	
5 事業の内容	新規レーザ測量およびそれに伴う地図更新	
6 事業の目的	オリエンティアが経営する(株)かなめ測量様がドローン飛行による、特注原図作成。 それをもとに地図調査を現在のレベルに合うように更新調査(まずは関東セレでクローズかけているエリアを対象に第1期、以降必要な試合に応じて新しい原図で調査更新)	
7 予定事業費額	1,500,000円 ※ 詳細については別途地図事業見積書様式2)に記載のこと	
8 本連盟に対する要望等	学連のトレイン管理という側面で10年単位で俯瞰すれば必ず元がとれる事業であり、旧来の怪しい地図でその場対応の地図修正で場を繋いでいくよりより効果的であると考えます。	

以上

## ※ 注意事項

事業費によって契約の承認過程が異なります。詳細は「日本学生オリエンテーリング連盟の地図の運用に関する規約」を参照してください。なお、総会は年2回、幹事会は年4回のペースでの開催となります。

(地図の運用に関する規約 様式2)

2023年2月20日

日本学生オリエンテーリング連盟 御中

### 地図事業見積書

事業名	前高原（矢板塩田・片俣・番匠峰古墳）エリア 全面レーザ測量および順次地図調査更新（第1期）
地図作成者	〒329-2441 栃木県塩谷郡塩谷町船生6082-68 (有)ヤマカワオーエンタープライズ 印 TEL：090-8041-4673

地図事業計画書（様式1）のとおり計画しております事業について、以下のとおりお見積り申し上げます。

#### 1 今回必要額

(金額単位：円)

番号	事業実施範囲	面積	1㎡あたり単価	金額	備考
例	○県×市△地区	□□㎡	●●円/㎡	▲▲円	
1	ドローン飛行によるレーザ測量	1269ha	552	700,000	
2	それに伴う地図更新	400ha	2,000	800,000	
3					
4					



5				
見積総額			1,500,000	

※ 事業実施範囲及び面積の疎明資料として、原則範囲を明示した地図を添付すること

## 2 予想売上

番号	項目	内容（具体的に）
例1	○×大会（初回競技会）	参加者○名 × △△円 = □□円
例2	合宿	年間述べ入山数●名 × ▲▲ = ■■円/年
1	過去実績	年間使用数1500枚×200円×10年=300万円
2	初回	2023. 6. 25関東ロングセレ「前高原」エリア<クローズ中>参加予測400名
	前回	3. 2. 5第31回全日本リレー「番匠峰古墳」133番問題の根本的原因はコンタの引き方が昔屈

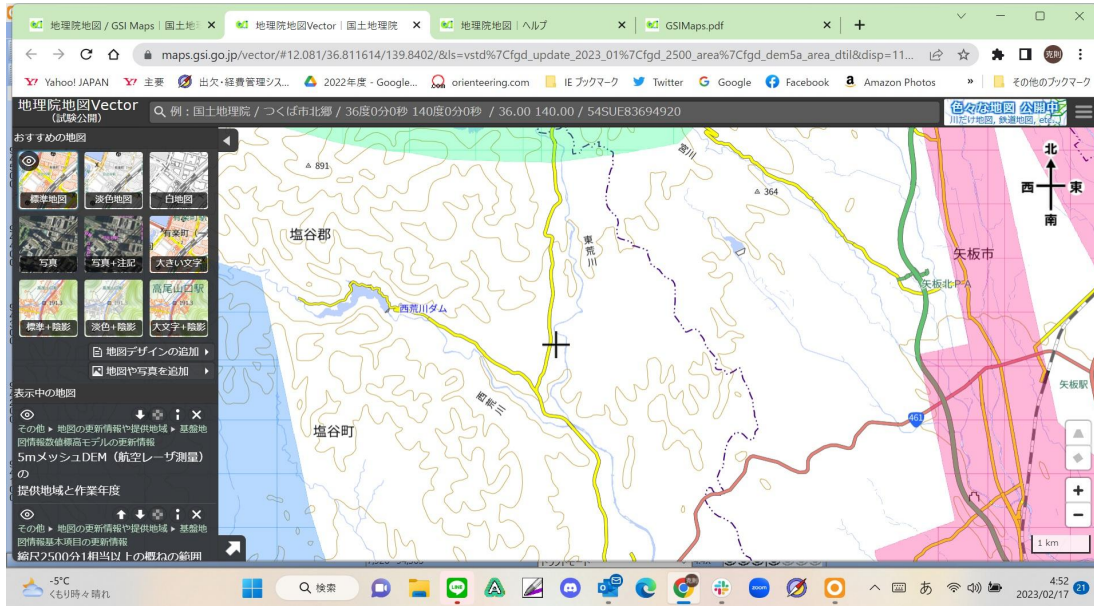
## 3 自由記述欄（その他上記以外に見込まれる波及効果等）

このエリアは一連の日本学連版権エリアのうち2002年から開拓が始まり2011年までに事業を行ったエリア。GPSデータが民生化されたのとほぼ同時に開拓始まった。そして最近では航空レーザ測量成果をO-MAP調査に利用することが一般的になり、地図精度が格段に向上している。しかし添付資料の通り、このエリアに航空測量が入る見込みは当分なく、古い行政図から引き込んだ等高線データを引きずって現在精度感覚では精度の向上が見込めない。ドローン飛行による目的特化の特注測量の市場も一般化してきたことから実施をしたうえで更新調査を施したい。

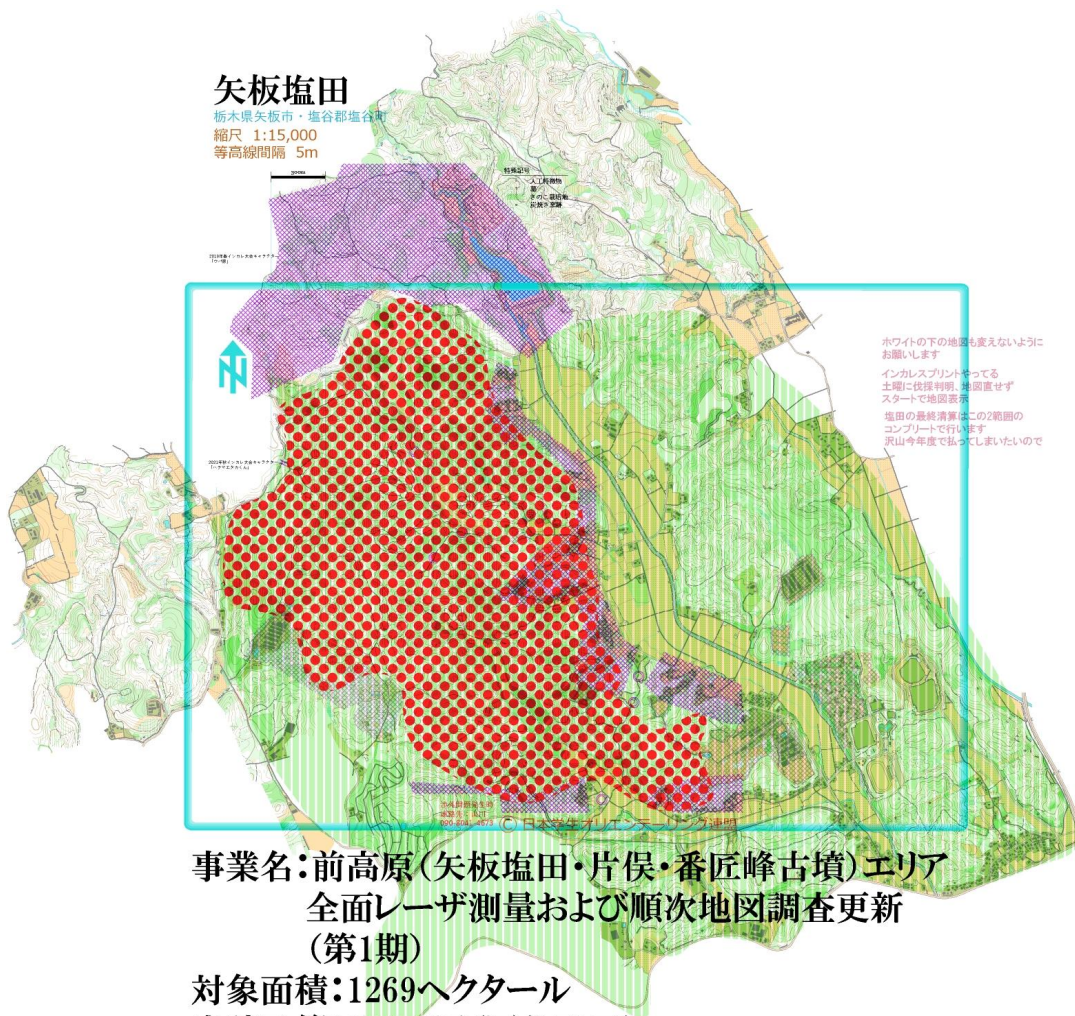
**【動機】** 第31回全日本リレー133番コントロールの問題を機にマッパーからこれ以上古い地図の傷をなめるような対策では不成立まがいがいいつ発生するかのリスクぬぐえず今の感覚からすればやっつけられない。旧来方法による地図（特に測地法改正の2011年以前の成果図）はレーザ測量により一新していただきたいという強い声に押されて社長が申請

以上

基盤地図情報5mメッシュカバーエリア(該当エリアはずっと白色のまま)  
 今度の春インカレ(2022年度)では、かなめ測量にドローンを飛ばしてもらい特注でコンタ生成



2002年～2011年開拓「前高原」エリア



事業名:前高原(矢板塩田・片俣・番匠峰古墳)エリア  
 全面レーザ測量および順次地図調査更新  
 (第1期)

対象面積:1269ヘクタール

申請予算:150万円(図化70万)

調査更新対象(まずは喫緊予定の関東ロングセル)  
 400ヘクタール(80万円)

## 世界大学選手権大会派遣事業の一部JOAへの移管について

2023/1/13

日本学生オリエンテーリング連盟  
理事 谷野文史

## 1. 概要

日本学生オリエンテーリング連盟(以下、学連)では、事業の一環としてこれまで世界大学選手権大会に選手派遣を行っている。その実務は技術委員会に一任され、選手の選考から派遣体制の確立までを実施している。一方で、技術委員会内では派遣にあたってのノウハウやナレッジが蓄積されておらず、技術委員長の属人的な対応でこれまでは派遣が行われてきた。また、幹事会についても短期間で人が入れ替わる学生が運営の中心であるため、派遣事業を管理することが難しい状況である。

こうした現状により、派遣事業の責任の所在が不明確、リスク等に対する対応(・対応する体制)が不十分といった課題が見受けられる。

このため派遣事業の一部を、様々な世代の派遣を行ってきた実績とノウハウを持っている日本オリエンテーリング協会(以下、JOA)に移管することで、選手にとって、安心して競技に取り組むことができる派遣を目指す。また、日本オリエンテーリング界全体最適化の観点から、派遣事業の一部の移管により全世代的な強化方針に一貫性を持たせることも目的とする。

## 2. 課題認識

現行の派遣体制においては、以下の課題を認識している

#	項目	内容詳細
1	責任の所在が不明確	派遣主体は学連であるが、有事の際に対応する体制や、責任者が定まっていない。 体制上は技術委員会であるが、実質的に対応を行っているのは技術委員長のみである。 短期間で人が入れ替わるため、学生が運営の中心である幹事会では対応が難しい。 このため、オフィシャルへの負担が大きい。 また、選手とも派遣契約(およびそれに準ずるもの)を締結していない。
2	リスク等に対する対応が不十分	昨今、選手派遣において様々なリスク(地政学的リスク、感染症リスク、...)への対応が求められるようになった。しかし、そうしたリスクに対応する知識を持つ有識者が学連内に存在していない。 また基本的なリスクについても、対策が講じられていることは少ない。
3	XXXX	XXXX

## 3. 派遣までの流れについて

2024年8月に開催されたと仮定した場合の流れは、以下のとおり

実施時期	実行主体	取り組み内容
2023年年初	幹事会	・世界大学選手権に向けた予算の確保 ⇒単年15万円、合計30万円を拠出
2023年内	技術委員会	・選考方法の決定・周知
2023年内	技術委員会	・オフィシャルの選任・委託
2024年4月	技術委員会	・選考会の開催 ⇒近年はJOAの他の世代の選考会に併催
2024年5月	技術委員会	・選手の決定・周知
2024年5月	オフィシャル	・大会エントリー ・派遣スケジュールの策定や宿・交通手段の確保等
2024年6月	技術委員会 オフィシャル	・派遣予算の確認
2024年6月	JOA	・派遣選手との誓約書の締結

	強化委員会	
2024年8月	オフィシャル	・選手への帯同
2024年12月	オフィシャル 技術委員会	・決算対応
2025年3月	幹事会	・決算承認

## 4. 業務

派遣に向けた取り組みについて以下のとおり見直しを行い、一部事業をJOAへ移管を行う。

項番	項目	補足	旧	新
1	世界大学選手権に向けた予算の確保	・業務移管後も派遣費用については学連の負担とする。	幹事会	幹事会
2	選考方法の決定・周知	・JOAにて選考方法を決定し、技術委員会で承認を行う。	技術委員会	JOA 技術委員会
3	オフィシャルの選任・委託	・JOAにて選任し、技術委員会で承認を行う。	技術委員会	JOA 技術委員会
4	選考会の開催	・主管することが主目的	技術委員会	JOA 技術委員会
5	選手の決定・周知	・JOAは選考基準に基づき選手の選定と周知を行う。 ・技術委員会は選定結果を承認する。	技術委員会	JOA 技術委員会
6	大会エントリー	・	オフィシャル	JOA
7	派遣選手との誓約書の締結	・JOAと学連が選手と代表選手の契約を行うイメージ	JOA	JOA 学連

単位: ¥

収入項目	単価	予算
加盟金		
加盟金	2,000	2,500,000
賛助金		
2023年度賛助金		100,000
事業収入		
2022年度ICSL貸付金		1,500,000
2022年度ICMR黒字返金		350,000
地図関係		
地図収入		2,500,000
その他		
関東学連から家賃として		50,000
インカレ限定ウェア寄付		30,000
利息		1,000
	小計	7,031,000

※1.WUOCは2年に一度であり2年に一度まとめて30万円を支出するが  
 計算上は1年に15万円を予算として計上することとなる

単位: ¥

支出項目	詳細	予算
インカレ関係		
2023年度ICSL貸付金		1,500,000
事業部		
キャンパスOツアー	景品など	30,000
後夜祭・講習会開催費用	ボランティアへの日当など	150,000
事業部活動費		10,000
事務局		
事務局活動費		10,000
普及部		
新歓フライヤー事業	新歓フライヤーの発注、デザインの原稿料	100,000
「みちしるべ」事業	インタビュアーの交通費、貸会議室代など	100,000
普及部活動費		10,000
渉外部		
地元渉外	回覧書の印刷・郵送、あいさつ回り	100,000
UNIVAS担当費	あいさつ回りなど	50,000
渉外部活動費		10,000
技術委員会関係		
学連合宿補助		200,000
WUOC補助 ※1	オフィシャル補助など	150,000
理事会・幹事会関係		
幹事会・総会開催費	交通費・宿泊費・会場使用料・資料印刷代	900,000
理事会開催費	交通費・宿泊費・会場使用料・資料印刷代	100,000
SPU関係		
SPU活動費		100,000
事務局維持費		
事務局維持費	家賃・資材管理費・基本渉外費	1,200,000
地図関係		
地図作成費	前高原エリア更新調査	1,500,000
その他支出		
JOA関係	年会費	100,000
	保険金	3,000
UNIVAS年会費		100,000
地区学連への賛助金フィードバック		20,000
oラーニング	旧インストラクタ講習会	550,000
手数料		20,000
	小計	7,013,000

部局報告

部局	今までしたこと	これからすること	相談・共有事項(あれば)
幹事長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インカレの開催形態について学生向けの説明会</li> <li>● 春インカレに向けて実行委員会と調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第2回総会の開催</li> <li>● 第4回幹事会の開催</li> <li>● 第3回幹事会の内容を学生向けにzoomで説明</li> <li>● 新幹事長への引き継ぎ</li> <li>● 女性理事増やします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 3/23に第4回幹事会@熱海やります。宿及び観光大臣は副幹事長です。</li> </ul>
副幹事長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幹事長補佐</li> <li>● 来年度メンバー広報計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第4回幹事会企画</li> <li>● 新副幹事長への引き継ぎ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>
事業部	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 春インカレ講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 春インカレ講習会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>
普及部	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みちしるべの企画始動</li> <li>● フライヤーのデザイン公募</li> <li>● 観戦ガイド、選手権名鑑のおしらせ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みちしるべの依頼書作成(随時)</li> <li>● 観戦ガイドの編集</li> <li>● フライヤー受注、発注</li> <li>● 引き継ぎ...!</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● みちしるべで定期的なタスクが生じるため、人員増やすか迷い中</li> </ul>
広報部	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HP更新</li> <li>● Twitter更新</li> <li>● いぶき発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2022年度議事録の公開</li> <li>● それ以前の議事録公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>
渉外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通常業務(地元渉外)</li> <li>● ユニバスとのやりとりの引き継ぎ(渉外部員担当)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通常業務とユニバス渉外</li> <li>● 渉外地区の整理と確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通常業務(テレイン利用申請(2月は50件以上の申請がありました!))と後援申請の受付</li> <li>● 台湾の方々とのやりとり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通常業務</li> <li>● 引き継ぎ!</li> <li>● テレイン申請方法の見直し</li> <li>● 追加分の加盟費の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>追加の学連登録申請の受付</li> </ul>		
会計	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度予算作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年度予算総会承認</li> <li>2022年度中間報告？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
技術委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバー移管についてのMT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きユニバーMT</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
北東学連	<ul style="list-style-type: none"> <li>セレ中止の場合の対応話し合い</li> <li>インカレ選考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度セレ大会に向けた連絡</li> <li>引き継ぎ(宮城学院女子大の千葉望央)</li> <li>インカレ枠配分についての意見募集</li> <li>新幹事長に第4回幹事会これるか確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
関東学連	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋インカレ選手権出場者選考</li> <li>春インカレ選手権出場者選考</li> <li>関東インカレ団体戦</li> <li>第3回総会(来年度幹事決め)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き継ぎ(早稲田の市川)</li> <li>第4回総会</li> <li>連盟規約やセレ規約などの改正</li> <li>インカレ枠配分についての意見募集</li> <li>新幹事長に第4回日学幹事会来れるか確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
北信越学連	<ul style="list-style-type: none"> <li>インカレ選考</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規約改正の議決、引継ぎ(金沢大の加藤君)</li> <li>インカレ枠配分についての意見募集</li> <li>新幹事長に第4回幹事会これるか確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
東海学連	<ul style="list-style-type: none"> <li>インカレ選考</li> <li>来年度幹事長、幹事決め</li> <li>来年度セレ運営委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東海学連規約改正の準備、議決</li> <li>引継ぎ</li> <li>第3回総会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来年度幹事長は舘直輝(名古屋大2年)です</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● インカレ枠配分についての意見募集</li> <li>● 新幹事長に第4回幹事会(3/23)これるか確認</li> </ul>	
中九四学連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 秋インカレ選考</li> <li>● 春インカレ選考</li> <li>● 第3回臨時総会(春インカレ選手選考のため)</li> <li>● 来年度幹事長決め</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き継ぎ(広島大学 一戸厚志)</li> <li>● インカレ枠配分の意見募集</li> <li>● 新幹事長に第4回幹事会(3/23)これるか確認</li> </ul>	●
関西学連	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 臨時総会(スプセレ、ロングセレ等)</li> <li>● セレ非常措置</li> <li>● インカレ選考</li> <li>● 予算の使い道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来年度幹事決定</li> <li>● 引き継ぎ(京大 吉岡春樹)</li> <li>● インカレ枠配分についての意見募集</li> <li>● 新幹事長に第4回幹事会(3/23)これるか確認</li> <li>●</li> </ul>	●